保存版

ふじみ野市

洪水 ハザードマップ

荒川・入間川
（平成28年5月指定）

新河岸川流域
（令和2年5月指定）

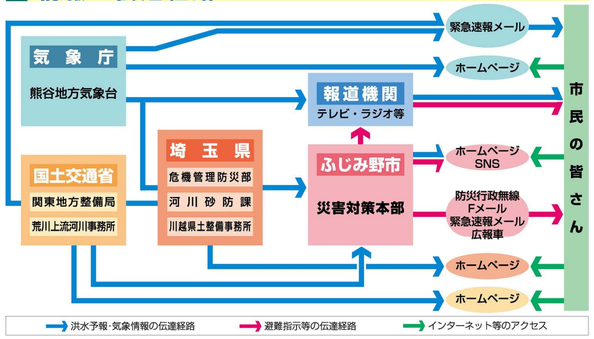
ふじみ野市役所
https://www.city.fujimino.saitama.jp/

〒356-8501
埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
電話番号 049-261-2611
2025年７月作成

避難情報などの伝達

ふじみ野市には気象庁から発表される気象情報と、国土交通省や埼玉県から発表される河川情報等が伝達されます。ふじみ野市ではそれらを総合的に判断し、市民の皆さんや関係機関に情報を伝達します。

情報の伝達経路



情報はこちらで入手

ホームページ	ふじみ野市	https://www.city.fujimino.saitama.jp/
	ふじみ野市防災情報ポータルサイト	https://fujiminocity.eye-bousai-plus.com/PTLC0010/top?init
	気象庁	https://www.jma.go.jp/
	埼玉県防災ポータルサイト	https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/anzen/index.html
	埼玉県　川の防災情報	https://suibo-river.pref.saitama.lg.jp/
	国土交通省 川の防災情報	https://www.river.go.jp
	国土交通省 荒川上流河川事務所	https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/
電子メール	埼玉県 防災情報メール　https://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/903-20091202-28.html　※内容説明のページです。 事前登録により、気象警報や地震などの防災情報を配信　携帯電話の登録説明のページ→	
	埼玉県 川の防災情報メール　https://www.pref.saitama.lg.jp/a1007/kawanobousaime-ru.html ※内容説明のページです。 事前登録により、県内河川の避難情報などを配信　携帯電話の登録説明のページ→	
	ふじみ野市メール配信サービス（ふじみ野Fメール）　https://www.city.fujimino.saitama.jp/soshikiichiran/kohokochoka/kohokochokakari/sns/1627.html 事前登録により、ふじみ野市のさまざまな情報（防災情報を含む）を配信　携帯電話の登録説明のページ→	
	ふじみ野市防災行政無線 電話自動応答サービス　電話番号 049-256-8877 防災行政無線で放送した内容を電話で確認ができるものです。放送内容が聞こえなかった場合やもう一度確認したい場合にご利用ください。	

避難情報について

水害から身を守るために、気象情報や洪水情報を入手しましょう。市ではこれらの情報や雨の降り方などから総合的に判断し、避難に関する情報を発表します。自らの命は自ら守る意識をもって、適切な避難行動をとってください。

水害時に入手する情報

避難情報とは
避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。ふじみ野市が発令します。市のホームページや防災行政無線などで確認しましょう。テレビやラジオ等の情報は、ふじみ野市だけではなく、より広範囲な情報になります。

指定河川洪水情報とは
水位の情報です。避難行動や水防活動の判断目安になります。発表基準は下記に掲載。

気象情報とは
台風や大雨に関する情報です。気象庁から発表されます。テレビやホームページなどから新しい情報を入手するようにしましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動		避難情報等	河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）：防災気象情報（警戒レベル相当情報）／浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	●すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保	5 氾濫発生情報	5 大雨特別警報（土砂災害）
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞						
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	●日没など、避難が困難になっておそれがあります。●速やかに避難を！！●洪水想定区域外の、少しでも安全な場所へ避難してください。	避難指示	4 氾濫危険情報	4 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	●高齢者等は避難を。●河川沿いにいる方も、車庫が狙い次第、避難してください。	高齢者等避難	3 氾濫警戒情報 洪水警報	3 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	●ハザードマップ等で避難場所や経路など再確認しましょう。	大雨・洪水注意報	2 氾濫注意情報	―
1	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	●災害への心構えを高めます。	早期注意情報	1 ―	―

河川水位	治水橋（荒川）	宮戸橋（新河岸川）
氾濫危険水位	13.30m	7.49m
避難判断水位	12.80m	7.18m
氾濫注意水位	7.50m	6.00m
水防団待機水位	7.00m	4.50m

市区町村長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

雨の降り方と雨量の関係

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

予報用語 1時間雨量（mm）	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内（木造住宅の場合）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ほとんど影響なし	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

浸水シミュレーション

浸水シミュレーションは、堤防の破堤によってどのような浸水被害がもたらされるのかを想定したものです。

荒川・新河岸川のシミュレーション

この浸水シミュレーションは、荒川・新河岸川の想定されている地点で破堤した場合、どのくらいの時間でどこまで浸水するかをシミュレーションしたものです。

凡例：ふじみ野市／破堤点／0.5m未満／0.5m～3.0m未満／3.0m～5.0m未満／5.0m～10.0m未満／10.0m～20.0m未満

荒川のシミュレーション

河口から38.8kmの場所が破堤した場合（ふじみ野市に氾濫水が一番早く到達する想定破壊点です）

ふじみ野市に影響がではじめる破堤後の時間　ふじみ野市に最も被害の影響が大きいとみられる時間　ふじみ野市から浸水の影響がなくなりはじめる時間

新河岸川のシミュレーション

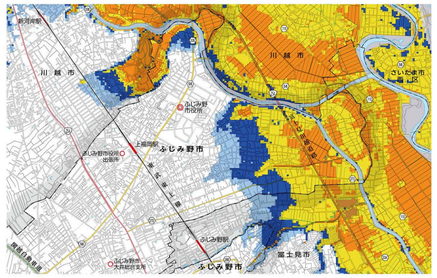
河口から21.6kmの場所が破堤した場合（ふじみ野市に氾濫水が一番早く到達する想定破壊点です）

ふじみ野市に影響がではじめる破堤後の時間　ふじみ野市に最も被害の影響が大きいとみられる時間　ふじみ野市から浸水の影響がなくなりはじめる時間

浸水継続時間

この浸水継続時間は、最大の被害が予想される荒川と、入間川・新河岸川の浸水継続時間を重ね合わせたものです。

浸水継続時間は、0.5m以上の浸水深が継続している時間を示しています。なお、一旦水が引いて水位が0.5mを下回ったのち、再び増水して水位が0.5m以上となった場合は、0.5m未満の時間も浸水継続時間に含まれます。



マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、水害時にとるべき避難行動をあらかじめ考えておくことです。マイ・タイムラインシート（記入して！ マイ・タイムライン）の部分を家族の人数分コピーして、自分と家族の避難行動を書き込んでください。

記入して！

マイ・タイムライン

マイ・タイムライン（あなたと家族のための避難予定表）とは、大雨や台風接近などにより、水害の危険性が高まっているときに、自分自身がとる行動を時間の流れに沿って整理したものです。いざというときに慌てないために、書き込んでおきましょう！

家の マイ・タイムライン　家族構成：名前／年齢　周囲の状況：【例】自宅裏には山がある／自宅と川の距離○○m

	3日前（台風発生）	2日前	1日前	雨・風が時間とともに強くなる			0時間前
行政からの情報	台風予報 警戒レベル1 概況	大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2 概況	大雨警報 洪水警報	警戒レベル3 発令 高齢者等避難	警戒レベル4 発令 避難指示	＜警戒レベル4までに必ず避難！＞ 警戒レベル5 発令 緊急安全確保	大雨特別警報
マイ・タイムライン	事前にしておくことリスト（例）家族相談や備蓄、ペットの避難に必要な準備 ●　●		避難するタイミングを記入しよう ▶避難開始		避難先を記入しておこう（複数の場所を想定しておこう） ●　●		逃げ遅れた場合の命を守るための最後の行動を記入しておこう ●
ポイント	事前の確認 ●浸水する深さ（　）m ●最寄りの避難所（　）③想定の避難先 ①（　）②（　）③（　）●避難経路は洪水時色映画所（アンダーパスなど）を通らないルートにする	●河川との距離（　）m ●この距離（　）m と時間（　）分 ）まで（　）分 ）まで（　）分	仕入先 気象情報 川の水位情報 避難情報				避難判断 【我が家の避難スイッチ】警戒レベル（　）が発令されたら（　）する

マイ・タイムラインのポイント

防災知識の習得

マイ・タイムラインを作成することで、気象情報や避難情報の意味、避難に必要な情報の入手方法、河川の氾濫に関する知識などが習得できます。

風水害の発生は、ある程度予測することができます。マイ・タイムラインがあることで、被害が発生する前に、あわてずに行動できるようになります。

家族で話し合いながらマイ・タイムラインシートを作成して、適切な避難行動がとれるようにしましょう。

マイ・タイムラインの作成方法

マイ・タイムラインシートには、自宅や避難先の場所、避難を始めるタイミングなどを記入します。すべて書き込むことで、個人や地域の実情に沿った、オリジナルの避難行動ガイドが完成します。

市のホームページには、マイ・タイムラインの記入例や作成のポイントなどが紹介されていますので、これらを参考に作成しましょう。

ふじみ野市ホームページ マイ・タイムライン
https://www.city.fujimino.saitama.jp/soshikichiran/kikikanribosaika/bosaikakari/bousaizyouhou/kouzui/8601.html

家族みんなで話し合いながら、マイ・タイムラインを作成しましょう！

避難時の注意点

災害が発生した時は、誰でもあわててしまいます。しかし、むやみに逃げまわると、かえって危険が大きくなりますので、避難する時はご近所の方々とも声を掛け合い、冷静に状況判断をしながら、安全な避難を心がけてください。

氾濫は早期の「立退き避難」が基本

洪水の危険が迫り、避難の呼びかけがあった場合や、身の危険を感じた場合には、すぐに避難所に移動します（立退き避難）。

避難所への移動がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所（堅牢で3階以上の建物等の上階等）に避難します。

避難情報について の記事を参照してください

外出が危険なら「屋内安全確保」

悪天候で避難所への移動がかえって危険な場合や、「立退き避難」を行う余裕がない場合は、屋内でもより安全な場所に移動します（屋内安全確保）。

避難情報について の記事を参照してください

単独での行動は避けましょう

避難するときは、できるだけ単独での行動は避けましょう。ご近所にも声をかけ協力して、お年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。

運動靴を履き、動きやすい服装にしましょう。サンダル、長靴は禁物です。

浸水時の避難は危険です

浸水箇所の水は茶色く濁っており、側溝やマンホールのふたがはずれていても気づきません。また、人が歩ける水の深さは、男性で70cm・女性で50cmが限度とされています。やむを得ず浸水箇所を歩く場合は、長い棒を杖代わりにして足下を確認しましょう。

このような状況になる前に早めの避難を!!

車での避難は控えましょう

冠水した道路では車が水に浸かり、動かなくなることがありますので、車での移動は大変危険です。

道路をふさいで救命活動や水防活動の妨げになることもあります。

車での避難はなるべく控え、堤防や道路への放置はやめましょう。

安全な避難先の確保（分散避難）

「立退き避難」の避難先は、市が指定する地域防災拠点（指定避難所）だけではありません。安全な場所にある親戚・知人宅やホテルなども避難先として考えられます。複数の避難先を検討しましょう。

＜避難先の例＞

■親戚・知人宅やホテル
日頃から親戚・知人に相談し、市外や他県など異なる地域で複数の場所を検討しましょう。

■安全な場所での車中泊
事前に安全な場所を確認したうえで、避難時には周囲の状況などを十分に確認しましょう。

避難情報について の記事を参照してください

家を出る前に確認を

避難先を確認し、親せきや知人にも避難する旨を連絡しておきましょう。

非常用持出品を忘れずに!

わが家の防災メモ（災害に備える食料・物資） の記事を参照してください

大雨により変貌する危険な場所に注意

大雨が降ると、周囲よりくぼんで低くなっている場所や水はけが悪い場所などは水がたまって（内水災害）、歩行者や車の通行に影響をきたすだけでなく、身体の危険もさらされないとも限りません。洪水発生時などの、いざという時の避難行動にも支障となることも想定されます。

そのような地域の周辺では、気象状況などの情報収集を行って避難行動が可能なうちに安全な場所への避難が必要です。

また道路や鉄道の下をくぐる立体交差部（アンダーパス）も、水がたまって危険となる場所です。

普段から、地域の状況などを考慮した安全な避難先ルートの確認と避難行動開始のタイミングを充分に検討しておくことが重要です。

道路冠水の実例

いつもの道路が危険な場所に!

平成28年8月台風9号による内水被害（元福岡）

日頃からの心がけ

近年都市部では、地表面がアスファルトに覆われたため、降った雨水が地下に浸透しません。そのため雨水が、下水道や河川に一気に流れ込み、許容量をオーバーして市街地に洪水を引き起こす、都市型水害が増える傾向にあります。

市では毎年、市内すべての地域防災拠点（避難所）を開設し市民の皆さんに参加していただく「参加型」の防災訓練を開催しています。また自主防災組織など地域の皆さんが協力して地域の被害を少なくできるよう日頃から災害に備えた防災活動を展開していきましょう。

家族会議を開きましょう

日頃から家族会議を開き、家族が離れ離れの時の連絡方法やペットの預かり先の検討、落ち合える集合場所や避難所を確認しておきましょう。

水害時には開設されない避難所があります。地図で確認しておきましょう。

安全な場所と安全なルートを確認しましょう

この洪水ハザードマップには、避難所が示されています。あらかじめ避難所まで安全に通行できるかを実際に確認して、避難経路を複数決めておきましょう。道路や鉄道の下をくぐる立体交差部は、浸水時に水深が大きくなりますので、経路からはずしておきましょう。

非常用持出品を準備しましょう

避難時に持ち出す荷物は必要最小限とし、すぐに持ち出せるようにまとめておきましょう。

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないレトルト食品や缶詰等を選びます。

懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池も忘れずに用意しましょう。

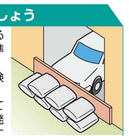
気象や災害情報に注意しましょう

梅雨どきや台風シーズンなど水害がおこりやすい時期には、テレビやラジオなどで最新の気象情報・避難情報・災害情報に注意しましょう。

避難情報などの伝達（情報はこちらで入手） の記事を参照してください

浸水への事前対策をしましょう

地下施設など浸水の危険がある場所には、日頃から浸水防止の準備をしましょう。土のう、止水板、排水ポンプ（ポンプ）の整備・点検などを日頃から心がけましょう。

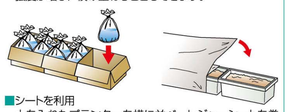


長めの板でも浸水を防ぐことができます。

なお市では、土のうを整備しています。必要な場合は、災害が発生する前に、市役所または支所にとりにきてください。

簡単な土のうの作り方

■ごみ袋を利用
大きめのごみ袋などを二重にし、中に半分程度の水を入れ、すき間なく並べます。段ボールに入れて連結すると、強度が増し、積み重ねることもできます。

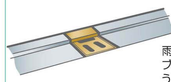


■シートを利用
土を入れたプランターを横に並べ、レジャーシートを巻き込んで補強します。

大雨に備えて家の周囲を点検しましょう

家の「雨戸」や「雨どい」が傷んでいないか確認しましょう。

家の周囲の「側溝」や「雨水ます」に落ち葉やゴミが詰まると、道路の冠水や浸水の原因になりますので、日頃からの清掃が大切です。



雨水排水口に車乗入れブロックが重ならないように気をつけましょう。

日頃からの地域交流を大切にしましょう

要配慮者とその家族の方々は、日頃から地域の皆さんとの交流を深め、いざというときの援助をお願いしておきましょう。

地域の皆さんも、要配慮者とその家族の方々が、遠慮なく援助を申し出られるように、普段から働きかけましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難所	わが家の集合場所
家族の連絡先　血液型や職場・学校の連絡先なども書いておきましょう。	
親戚の連絡先	

災害時の連絡方法

NTT 災害用伝言ダイヤル（171）

固定電話・IP電話・携帯電話・PHSから、伝言を録音・再生できます。録音時間は１伝言あたり30秒です。

【使い方】
「171」をダイヤルして、「録音」または「再生」の操作をしてください。

NTT 災害用伝言板（web171）

【URL】https://www.web171.jp/
携帯電話・スマートフォン・インターネットから、伝言を文字入力・確認できます。文字数は１伝言あたり100字以下、日・英・中・韓で入力可能です。

【使い方】
「web171」にアクセスし、「入力」または「確認」の操作をしてください。

携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板

携帯電話各社（NTTドコモ、au、ソフトバンク、ワイモバイル、楽天モバイル）の携帯電話・PHSから伝言を文字入力できます。伝言の確認はインターネットからも可能です。

【使い方】
各携帯端末のトップ画面や専用アプリから「災害用伝言板」にアクセスし、操作をしてください。

■災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板（web171）は、それぞれで登録された伝言を音声で相互に確認できます。
■災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板は、「毎月１日、15日」「正月三が日（1月1日～1月3日）」「防災週間（8月30日～9月5日）」「防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）」に体験利用できます。

災害に備える食料・物資

備蓄品は、電気・ガス・水道などのライフラインが復旧するまで自給自足するのに必要な物です。最低でも3日間（推奨１週間）必要な食料・物資を用意しましょう。

飲料水・生活用水
- □ 3日分の飲料水の備蓄（1人×3日×3ℓ）
- □ 水筒（1人×1個）
- □ 生活用水の確保・風呂水の溜め置き 等

食料品等
- □ 3日分の食料の備蓄
- □ 非常食（レトルト食品、缶詰など）
- □ 携帯食（あめ、チョコレートなど）
- □ 乳幼児・子ども（離乳食や粉ミルクなど）、その他病人用の治療食など
- □ 簡易食器（紙コップ・紙皿・箸など）
- □ ラップ
- □ 缶切り、ナイフ

衣類・衛生用品
- □ 衣類、軍手、マスク
- □ 簡易トイレ
- □ ティッシュ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー
- □ 生理用品
- □ 紙おむつ
- □ ゴミ袋
- □ 歯磨き用品

ライフライン停止に備えて
- □ 懐中電灯（大型１個、小型１人×1個）
- □ ポータブルラジオ
- □ 電池
- □ 卓上カセットコンロ、ボンベ
- □ 固形燃料、灯油バーナー
- □ 携帯充電器
- □ 携帯電話

医薬品等
- □ 常用薬
- □ 救急用品（消毒液、傷薬、ばんそうこう 等）
- □ 包帯、三角巾、さらし
- □ 使い捨てカイロ
- □ マスク　□ 消毒液
- □ 体温計

その他
- □ アウトドア用品（寝袋、防水布、ランプ 等）
- □ ライター、マッチ、ローソク
- □ マーカーペン、筆記具
- □ ペット用品（ケージ、リードなど）
- □ 新聞紙
- □ ガムテープ
- □ ロープ
- □ 笛
- □ ヘルメット
- □ レインコート
- □ スニーカー

非常用持出品は、災害発生直後から１日間をしのぐために最低限必要なものです。上記の備蓄品などのほか、現金、通帳・印鑑、本人確認書類（健康保険証・免許証など）など、必要なものをすぐに持ち出せるようにしておきましょう。